

絶滅危惧種の淡水魚「コシノハゼ」

マリンピアで国内初展示

新潟市中央区の市水族館マリ
ンピア日本海は、絶滅危惧種の
淡水魚「コシノハゼ」を国内で
初めて飼育、展示している。コ
シノハゼは、絶滅危惧種の中
でも特に絶滅の危険性が高い「国
内希少野生動物種」に指定さ
れており、捕獲や譲渡が禁止さ
れている。マリンピアは飼育を
通じて未解明の生態を調べてい
く。

コシノハゼは、新潟、山形両
県のため池や川などに生息し、
昨年2月に国内希少野生動物種
に指定された。これを機に、マ
リンピアは環境省の許可を得
て、県内の生息地や生態を昨年
7月から調査。県内で新たに3
カ所の生息地を確認した。
マリンピアでは現在13匹を飼
育しており、6匹が同館地下1
階の育成室で展示されている。

飼育通じて生態調査へ



大きさは約8～9センチ。飼育によ
り、昼は砂の中に潜っているこ
とが多く、夜に活動が活発にな
ることや、頻繁に砂の中に潜る
などの生態を新たに発見した。
飼育下での繁殖にも取り組んで
いる。

展示課の田村広野さん(50)は
「コシノハゼの展示を絶滅危惧
種について知るきっかけにして
ほしい」と話した。
写真=マリンピアで国内初展示
されたコシノハゼ=新潟市中央
区

④ 地域に関係する絶滅危惧種を調べよう

高い。

種の中でも特に絶滅の

が禁止されている。

③ コシノハゼが指定された「国内希少野生動物種」についての説
明文を埋めよう

昼は

夜は活動が

② 昼と夜で、生態（活動）はどう変わる？

に潜っていることが多い

① コシノハゼが生息している場所は？

月 日

年 組

番 名前